

TOMIMATSU

HIBARI

HALFYEARLY PUBLIC INFORMATION

医療法人 富松記念会 広報誌

半年刊(年2回刊行)

平成28年1月1日発行

前期号

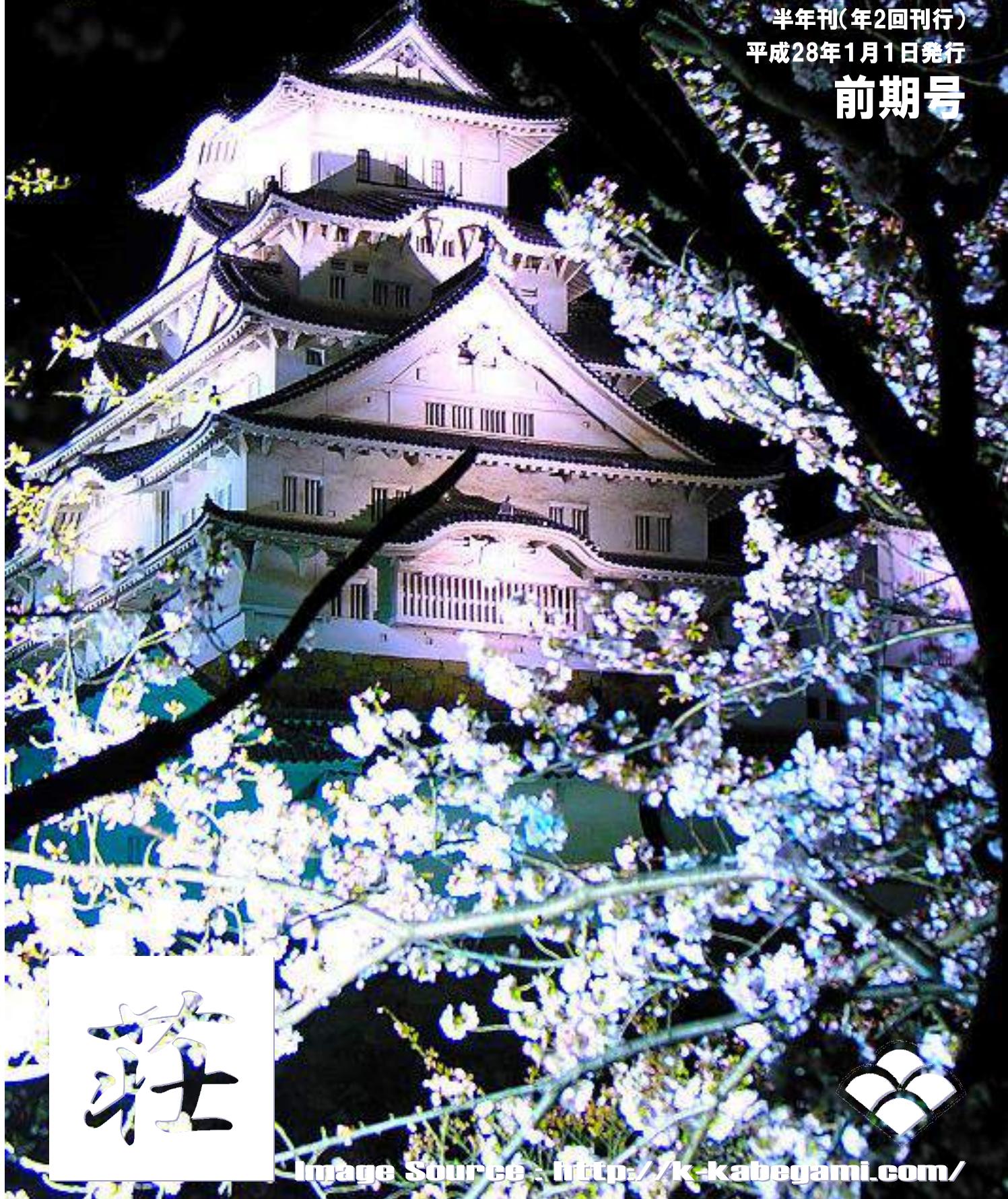


Image Source : <http://k-kabegami.com/>

新年のご挨拶

院長 富松 愈

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

当院がある大牟田市は、昨年の7月に三池炭鉱（宮原坑・専用鉄道敷跡）・三池港が「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録され地方の私たちにとって大変喜ばしい年でした。また、ノーベル物理学賞・ノーベル生理学医学賞と相次ぐ日本人のノーベル賞受賞に誇らしく明るいニュースがあった一方、東日本における豪雨災害をはじめとする自然災害が昨年に続き多い1年でもありました。犠牲になられた方、被害に遭われた方に対しお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、1日も早い復興と回復を心より願っております。

近年の急速な少子高齢化の進展、人口・世帯構造や疾病構造の変化、医療技術の高度化や国民の医療・介護のニーズの変化など、医療福祉を取り巻く環境が変化するなかで、国は持続可能な社会保障制度の確立を図り、効率的かつ質の高い医療体制とともに地域包括ケアシステムを構築するために「医療介護総合確保推進法」を制定し、その法律が2014年6月に成立、公布されました。2025年には団塊の世代が75歳以上

（国民の3人に1人が65才以上、5人に1人が75歳以上）という社会が見込まれ、医療機関の機能の分化・連携、在宅医療の充実、医師・看護師等の人材確保対策、医療従事者の勤務環境改善、チーム医療の推進、医療事故調査の仕組みの創設等、地域における質の高い医療を維持するための基盤を整備し、さらに高度急性期から在宅医療まで、患者の状態に応じた医療を迅速かつ適切に提供するだけでなく、早期社会復帰を促し、地域で安定した生活を継続するための医療提供体制の改革を国の方針として打ち出しています。

政府は更に20年後の2035年を見据えた保健医療のビジョンを明らかにし、短期・中長期の政策課題に着手していく「保健医療2035」策定懇談会（原則非公開の会議）を設置し、昨年の2月の初会合で保健医療について「質と効率」「予防」「グローバル」の観点で自由討議を行っています。「急激な少子高齢化の進展や医療技術の進歩などに対応できる持続可能なシステムを作らなければならない」というのが主な設置理由ですが、毎年1兆円ずつ増え続けている国民医療費に鑑みて、医療費抑制に取り組むことを念頭に、経済財政状況をふまえながら国民の健康増進をどう図るか、日本の保健医療が国際的にどのように貢献できるか、地域づくりで保健医療が果たせる役割は何かということをテーマに幅広く論議するものとなっているようです。しかし、それらはすでに社会保障制度改革国民会議や経済財政諮問会議で検討されており、社会保障制度改革の機能強化のための課題も報告されています。

昨年閣議決定された「骨太の方針2015」によると、2025年の医療・介護提供体制の整備に向けた施策が多く掲げられており、主要な事項となっている地域医療構想については都道府県において策定が進められています。

限られた医療資源を最大限有効に活用するためには、病床の再編・機能分化は必要なことではあります。ただ、その整備については、各地域の医療需要に応じて必要な医療機能にはどうしても差があります。その地域に必要な医療提供体制の整備と、各医療機関等の間で円滑な連携が行われ、誰もが安心して利用できる、「わかりやすい医療・介護・福祉」が我々の切なる願いではないでしょうか。

新年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

法人理念

優

優しさをモットーとし、
質の高い医療・介護・福祉サービスを
提供します。

明

皆様方に対し明るく親切に
対応し、あなたの気持ちを
尊重します。

美

緑豊かな三池の地のもとに、
環境に配慮した心の安らぎが
図れるように努めます。

新年のご挨拶

病院相談役・医局長 今里 勝次郎

新年の御挨拶申し上げます。皆様、良いお年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

私も今年で77歳、こう年を取って参りまして黄泉の国への旅立ちが近づいて来ますと、昔の事をよく振り返ります。その一つのエピソードをお話ししましょう。

「伊予（愛媛県）の送り迎え」です。愛媛県では、伊予を訪れた人を盛大に迎え、又、お送りする習わしがあるそうです。

私が医師になりたての頃、宇和島精神科病院に1年半位、大学より出張した時の事です。歓迎会は医局の先生方が宴会して下さり普通に行われましたが、1年半して大学に戻る時の事です。宇和島港より朝6時にフェリーに乗船する為に桟橋に行きましたところ、病院の職員が総出でこられたと思う位、100名位大勢の方が待っておられました。中島健一院長、小田原耕一副院長、小松三郎先生、近藤先生（宇和島市立病院、名誉院長）も来ておられました。中でも、小松先生はお酒好きで、よく朝早く起きられたものだと驚きました。今は47歳になる私の長男が産まれたばかりで、その出航寸前まで先生方に代わる代わる抱いて頂きました。

上船しまして数十本の別れテープを持ち、岡晴夫の歌「憧れのハワイ航路」の文句に、「別れテープをデッキで振れば歌も懐かし遙かな潮路」とあるように、賑やかな別れでした。今でも、その光景が鮮明に思い出されます。この「伊予の送り迎え」はその土地で言い習わされている様で、盛大に行われるとその話は聞いていまして、成る程と感激致しました。このように老後の今懐かしく思い出します。

若い頃、多くの事をしたり、行ったり、経験しておいて下さい。思い出が多彩である程、多い程、楽しいですよ。私は若い頃から貧しかったので、そう多くの経験が出来なかったのが悔やまれます。今年、平成28年も、皆様健康で頑張りましょう。



宇和島精神科病院に併設された准看護学校の学生さん（教え子）



デッキからの別れテープ 今里先生と産まれたばかりの長男さん



宇和島精神科病院院長 中島健一先生（右から二人目）とご近所の奥様達

院長代行 中野 哲男

明けましておめでとうございます。

昨年は4月3日満76歳の誕生日を迎え、昭和52年6月1日から38年間続けていた福岡県社会保険審査委員会審査委員を厚生労働省の規定により5月31日付けで退任いたしました。

9月21日敬老の日を迎えた医師会から喜寿のお祝いを頂き、子どもたちからはダンヒルのバッグをもらいました。9月22日から23日まで長男が7人乗りのワゴンを運転して長女の家族と私たち夫婦の7人でNHKの大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台になった山口に旅行に行きました。山口市の外郎の店によって秋芳洞に行き長門湯本温泉に一泊して翌日は萩の町を散策して帰ってきました。長女の長男は高校3年、長女は高校1年になり、これから先は一緒に旅行する機会はないかもしれませんので、いい思い出になりました。

今までではあまり歳を気にすることはありませんでしたが、昨年は年齢を意識させられた歳になりました。今後とも元気なうちは働きたいと思っていますので、ご助言ご指導の程よろしくお願ひいたします。今年も皆様にとってよい年でありますようお祈り申し上げます。

精神科副院長 鹿子島 裕士

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

近年は世界的に中枢神経領域での研究開発が活発になり、アルツハイマー病の治療薬も開発が進んでいます。従来の認知症治療薬は対症療法に過ぎなかったのですが、現在開発が進められているのはアルツハイマー病の原因と考えられているアミロイドBというタンパク質を減らす薬剤です。

ちょっと前まで治療は困難と思われていた認知症ですが、予想外の速さで治療法が進展しつつあるようです。2年後にはiPS細胞の移植によるパーキンソン病治療という、人類初の再生医療の実験が始まることで、医学の進歩が年々加速されているように感じます。これから約10年で治療は様変わりするのではないかと感じる今日この頃です。

介護老人保健施設「さんぽ」施設長 草場 卓

明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年は申年（さる年）にあたります。「申（サル）」は「去る」を意味し、「悪いことが去る」「病が去る」など幸運を運ぶものとする説があります。今年も皆様に幸福を運んでくれるような一年になりますように心から職員一同願っております。

ご利用者・ご家族皆様方の御要望や安心、安全に十分配慮し、和気あいあいとした信頼される介護老人保健施設として、地域に根ざした医療・介護・福祉のサービス、サポートの一層の充実に努めて参りたいと思います。

新年を迎える皆様方の御健康と御多幸をお祈りいたします。本年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。

診療技術部長 富松 健太郎

新年明けましておめでとうございます。

本年も自分自身の目標は『全職員の物心両面の幸福を追求し、その上で、患者さんや利用者さんに最良の医療・福祉・介護を提供する』でございます。常々申していますが、やはりこれしか思い浮かびません。提供する側の心身が健康でないと『人に優しく』接することが出来ず、それを実践できないものと確信しております。

旧年中は当院での診療以外の仕事も種々あり、「忙しい、忙しい」と申しておりました。「忙しい」という漢字は「心を亡くす」ということに繋がります。忙しさにかまけて心を亡くすことのないように自らを律していきたいと存じます。

皆様の御健康と御多幸をお祈り致しますと共に、本年も変わらぬ御指導と御鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。

精神科医 久富 慎治

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。尤も、これを書いている時点ではまだ11月なので、まだまだ今年もお世話になるところなのですが。

昨年は冷夏と暑い秋という不思議な気候に見舞われ、季節感がおかしくなりそうな一年がありました。病院行政に関する話題としては、昨年10月より医療事故調査制度の運用が開始されました。会議や書類が増えることによって現場での負担増が予想されるなか、益々各部署の連携が必要とされています。

不景気、過疎化、少子高齢化に政治の迷走、停滞など悩みには事欠きませんが、まずは足許からです。当院の職員、利用者の皆様に取り今年が良い年になりますよう、心から願っております。

どうか本年もよろしくお願ひ致します。

精神科医 橋爪 祐二

新年あけましておめでとうございます。今年の干支はさる年ですが、正確には丙申（ひのえさる）といいます。丙申の年は西暦年を60で割って36が余る年が丙申になることです。丙申は前回が1956年（私はまだ生まれていませんでした）、次回は2076年（もう私も死んでるでしょう）だそうです。ついでに丙は「あきらか、さかん」という意味があり、申には「伸びる」という意味があることです。干支にちなんで、三池病院も日本のこれから未来も「さかんに伸びていって」欲しいと思います。

4年後には、もう東京オリンピックが開催されます（東京開催の是非はさしおいて）。前回開催されたのは1964年、その当時は今のようにテレビも十分に普及しておらず、開会式を親戚の家で見た記憶があります。あのオリンピックは終戦からの復興のシンボルのようなものでした。2011年3月11日の東北の震災後の福島県の原発の周囲は未だに「復興」とはほど遠い状態です。東京一都市のみが繁栄するのではなく、過疎化している多くの地方都市や町も干支にちなんだ都市や町になって欲しいと願っています。

FEATURE 1

九州精神医療学会

11月19・20日の2日間、「九州精神医療学会」に参加させていただきました。

他病院の様々な業務改善や、ケアへの取り組みの発表を聞き勉強になることばかりでした。

「患者さんを中心」としたケアが出来る精神科看護師の原点に振り返ってみなければ・・・と思いました。

今回演者として発表した2人は堂々としていて、終わった後は感激して演者でない私が鳥肌ものでした(^^)

今年は『沖縄』での開催です。(誰もが演者としてではなく行ってみたい・・・笑) 今、学会発表に取り組んでいる部署のみなさん! 頑張ってください。沖縄が待っていますよ♪♪

FEATURE 2

秋祭りのご報告

去る平成27年9月19日(土)に三池病院秋祭りを開催しました。毎年恒例となっていました納涼祭でしたが、今年は患者さん、スタッフ、地域の方々の意見を集約し初の秋祭り開催となりました。

会場を盛り上げて下さったのは『太鼓衆 韶』の皆さん。子どもさんから大人の方まで息の合った見事な太鼓のパチ捌きは見るものを魅了しました。『ロック54』の楽しい演奏には会場が一つになり、盛大な歓声が上がりました。

露店では三池病院名物とも言える自慢の“焼きそば”から、3種のつゆにこだわった“そうめん”に変わりました。開店と同時に行列ができ、1番人気のトマト味はすぐに無くなり、味噌・醤油味も大人気でスタッフも大忙しさでした。焼きそばにも劣らない人気ぶりで、新たな名物になりました。来場者の方も楽しめるゲームブースやポテト、ジュースの食べ物ブースも毎年のように人気でした。

豪華商品が当たる抽選会では、当選発表で数字が呼ばれるたびに歓喜の声とため息が会場を包みました。

クライマックスにはペットボトルの創作灯籠によるイルミネーションと巨大なトンネルがライトアップされ、その穏やかな光が織りなす幻想的な雰囲気を楽しまれていました。

シルバーウィーク真っ只中にも関わらず多くの来場者があったことを嬉しく思います。新たな取り組みの中、来場者の方、ボランティアの方をはじめ皆様のご協力で笑顔があふれる秋祭りを無事に終えることができました。有難うございました。



FEATURE 3

ストレスチェック相談窓口のご案内

皆さまご存知の通り、平成27年12月よりストレスチェック制度がスタートしました。この制度は、従業員数50人以上の事業所では、毎年1回、ストレスチェックが全ての従業者に義務付けられます。このストレスチェックでは、実施者よりその結果が、「医師による面接が必要」と判断され従業者に報告されます。従業者が医師による面接を希望する場合は、事業主は医師への依頼が必要となります。

当院では、「医師による面接が必要」となった場合、従業者の希望で事業主より依頼があった場合、皆さまのご相談を受ける窓口を設置しております。お気軽にご相談ください。

相談室 電話 0944-53-4852(代)

FEATURE 4

職員旅行

昨年は当法人の職員研修旅行を実施し、コースやプランは次の通りです。

- ①沖縄 2泊3日コース
- ②立山黒部アルペンルート・上高地・白川郷コース
- ③東北 2泊3日コース
- ④ユニバーサル・スタジオ・ジャパンコース
- ⑤黒川温泉・由布院観光コース
- ⑥日帰り旅行（天草 or 竹崎 or 糸島海岸地引網）コース 等



今回は立山黒部アルペンルート・上高地・白川郷コースへ行ってきた模様をお伝えします。

初日は長野県西部の飛騨山脈南部にあり中部山岳国立公園の一部でもある上高地です。清流梓川にかかる河童橋から眺める穂高連峰は絶景でした。また、上高地帝国ホテルのケーキは絶品です。

2日目は黒部立山アルペンルートです。黒部立山アルペンルートは標高3000m級の峰々が連なる北アルプスの山岳観光ルートです。長野県大町市の「扇沢駅」から黒部ダム、大觀峰、室堂、美女平、富山県立山町「立山駅」までをトロリーバスやケーブルカー、ロープウェイなどの乗り物を乗り継ぎいくつもの景勝地を通って雲上に広がる雄大な大自然を満喫することができました。

3日目は合掌造りの集落で知られユネスコ世界文化遺産にも登録されている白川郷です。茅葺屋根の合掌造りの家が立ち並ぶ様はまるで日本昔話の世界にタイムスリップしたかのような錯覚を感じてしまいます。



FEATURE 5

5病院グランドゴルフ大会

10月16日、澄みきった秋空の下、5病院グランドゴルフ大会が開催されました。グランドゴルフはルールも簡単で誰でも参加できる競技として人気があり、当院でも多くの患者さんが楽しまれています。

午前の部では、各病院2チームずつ参加し、計10チームにより総合順位を競いました。普段の練習とは違うグランドのため、決められた範囲の外へボールがいってしまうような失敗もありましたが、仲間同士でアドバイスし合いお互いにカバーしながら頑張りました。日頃の練習の成果を発揮し、総合3位という見事な結果に皆さん大喜びでした。

午後の部では、他病院との交流を目的に1人ずつホールインワンを狙うレクリエーション形式で行われました。順番に打つたびに大きな歓声があがりました。皆さんのが成功するようにと他の病院の方々とも声援を送り合い、良い交流の場になりました。大歓声と笑顔に溢れた1日でした。

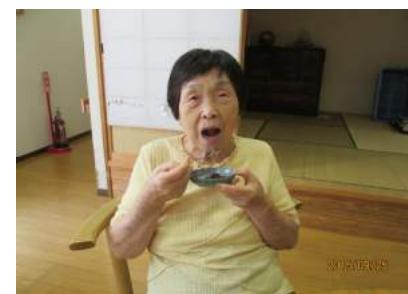


FEATURE 6

いろは喫茶

いろはでは、定期的に喫茶を催しており、スタッフの手作りのお菓子や飲み物などをお出ししています。

ケーキやブラウニー、クッキー、おはぎと結構ボリュームがありますが、皆さん甘い物には目がないようで、いつも笑顔でペロリと完食されます。



FEATURE 7

サンフラワー

こんにちは！サンフラワーです！！

今回はサンフラワー自慢の画伯を紹介したいと思います。

入居歴4年の大瀬戸邦雄画伯。17歳のときから石膏デッサンなどの絵を描き始めて、今では絵画歴43年目になるとのこと！すごいですよね。若いときには野心を抱き上京した時期もあったそうです。絵の製作場はサンフラワーの自室。地域交流センターいろはで行われている絵手紙の会にも参加されており、お部屋にはこれまで描いてきた油絵等が飾られています。平成27年には第64回大牟田美術展洋画部門に出展し、三井化学(株)工場長賞を受賞されました。次回作は花の連作を考えていて、2~3年後までには自身の技術も最高潮になる(予定の)ため、大作を描きたいと思っています。夢は個展を開くこと。「その時は是非、皆さん観に来てくださいね」とメッセージをいただきました。夢が叶うよう、私たちサンフラワー一同、応援しています！！





三池病院

TEL 0944-53-4852 FAX 0944-53-0117

〒837-0921

福岡県大牟田市三池855

ホームページ

<http://miikehp.com>

E-mail

miike-hp@axel.ocn.ne.jp

- 富松記念会 関連施設 -

介護老人 保健施設 さんぽ

TEL 0944-53-1001 FAX 0944-53-4922

介護サポート センター さんぽ

TEL 0944-41-8300 FAX 0944-53-4922

訪問看護 ステーション さんぽ

TEL 0944-53-4877 FAX 0944-53-0117

ヘルパー ステーション さんぽ

TEL 0944-53-5520 FAX 0944-53-5521

高齢者 グループホーム いろは

TEL 0944-53-3168 FAX 0944-53-3178

地域交流 センター いろは

※お問い合わせは、高齢者グループホームいろはにお願いします

グループ ホーム サンフラワー

TEL 0944-59-7066 FAX 0944-53-4863

MAP



白菜中華そば



健 康レシピ



カロリー 一人前 約552kcal



調理時間 15分

■材料・作りやすい分量

白菜	1/8 株 (約 150g)
にら	1/4 束
しめじ	1/4P (約 25g)
豚ばら肉	30g
中華生麺	1 袋
水	3/4 カップ (約 150cc)

■作り方

- 白菜は2cm幅のざく切り、にらは5cm幅の長さ、しめじは石づきを落として、小房に分ける。(麺を茹でるお湯を沸かし始めておくと更に時短!)
- にんにくは薄切りにして、ラーメン鉢に入れ、みそ・みりん・料理酒・鶏がらスープの素を入れ、みそをよく溶かす。①の野菜を入れ、たれが全体にからむように軽く混ぜ、水をまわし入れる。野菜の上に、豚ばら肉を広げてのせ、ラップをして600wの電子レンジで5分間加熱する。
- お湯が沸いたら、中華生麺をお好みのゆで加減にゆで、水気を切る。
- ②のラップを外して、野菜を少し横によせて麺を入れる。麺の上に野菜をかぶせて完成。

【栄養メモ】

白菜はビタミンCが豊富なので、風邪予防には効果的な食材です。にらやにんにくにも、風邪の原因菌を殺菌するアリシンという成分が含まれています。食欲増進や血液の循環をよくして身体を温める働きもあります。風邪が流行る冬の時期には、もってこいの食材です。

ひばりのさえずり

今季のサエズリスト

三池病院 デイケア 臨床心理士 安部 真莉絵

新年明けましてあめでとうございます。

昨年は暖冬との事で、雪の積もり具合を心配していた安部です。一昨年からスノーボードを始め、九重や広島に滑りに行きましたが、なかなか上達せず雪の上を転がっています。シーズンオフまであと2ヶ月程、まだまだスキー場に足を運びたいと思います！！！運動音痴な私ですので怪我には十分気をつけます(*^_^*)

次回は相談室のアイドル濱裕美子さんにバトンタッチです♡

